

## 第15回森吉山麓高原自然再生協議会

日時：平成24年8月2日（木） 11時～

場所：森吉山麓高原

### 次 第

#### 1 現地視察（11時～）

H24 植栽事業予定箇所の視察

#### 2 協議会（13時～）

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 協議
  - ① 県の行う実施計画の今後の方向について
  - ② 協議会設置要綱の改正について
- (4) その他
- (5) 閉会

## I. 現地視察（午前中）

- ・ H24年度事業実施予定箇所の視察（北側牧場跡地）

## II. 協議事項（午後）

### 1. 県が行う実施計画の展開方向について

#### (1) 事業展開の経緯

- H15 自然再生推進法の施行
- H16～ 県が再生事業に着手
- H17～ 協議会発足、全体構想の策定
- H18 実施計画の審議
- H19～ 県事業についての調査、審議等

#### (2) 事業の展開

- H16～18 環境調査
- H18～ 試験植栽
- H19（H20春）～ 事業植栽
- H23～24 広葉樹林再生事業による牧場利用地の植栽  
（森林環境税）  
※H24末で再生事業対象の約8割は植栽が完了見込み

#### (3) 事業財源の推移

- H16～H23 自然環境整備交付金（4.5/10）  
※制度上の兼ね合いからH23～24で収束させる方向
- H24～ 地域自主戦略交付金（継続は制度上可能）
- H23～24 秋田県水と緑の森づくり税

（単位：千円）

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
事業費	10,000	9,090	10,000	7,500	6,750	4,727	3,781	2,400	936
税事業	-	-	-	-	-	-	-	9,850	15,000

（※税事業は広葉樹再生事業）

#### (4) ボランティア等の受け入れ

- ・ H19 から受け入れ開始
- ・ H20 から企業の森の候補地
- ・ クーンの自主事業による植栽（H18～）
- ・ 森吉山ブナ林再生応援隊による植栽（H21～）

- ・ 森吉山の自然を守る会による植栽（H21～H22）
- ・ うまい！を明日へ！クマゲラの森再生プロジェクト（H22）
- ・ 国際森林年植樹（H23）
- ・ MORIMORI ネットワークのバースデーランド（H23～）

（5）県事業の方向性

区分	状況	方向性	備考
植栽事業	毎年実施中 H24で8割が完了見込み	H24で新規植栽は中止とし、 保育にシフトし、上長生長（肥大成長）を助ける	
種苗確保 （森林技センター）	毎年実施中 H18播種分はH24植栽 事業で全量使用見込み H23採種・播種分は育苗 を継続	継続する	出荷はH26 秋～H27春
種苗確保 （現地）	毎年実施中 H20～ 播種・育苗 H23山取（H24事業で使用）	継続する 事業での使用は一旦終了	
モニタリング	毎年実施	継続する	
普及啓発 環境学習	毎年実施	拡充する ・ 企業の森・ボランティア団 体の受け入れ拡充、強化 ・ 複数年にわたるプログラ ム提供の検討	（別紙）

※現実施計画（二期）の期末で、短期的目標（30年後の姿）の初期段階となる10年間の区切り

2. 協議会設置要綱の改正について

県が行う今後の企業・団体等の参画について協議会から各団体等へ助言を行うことを目的として、所管事項の第2項に「助言等」を追加する。

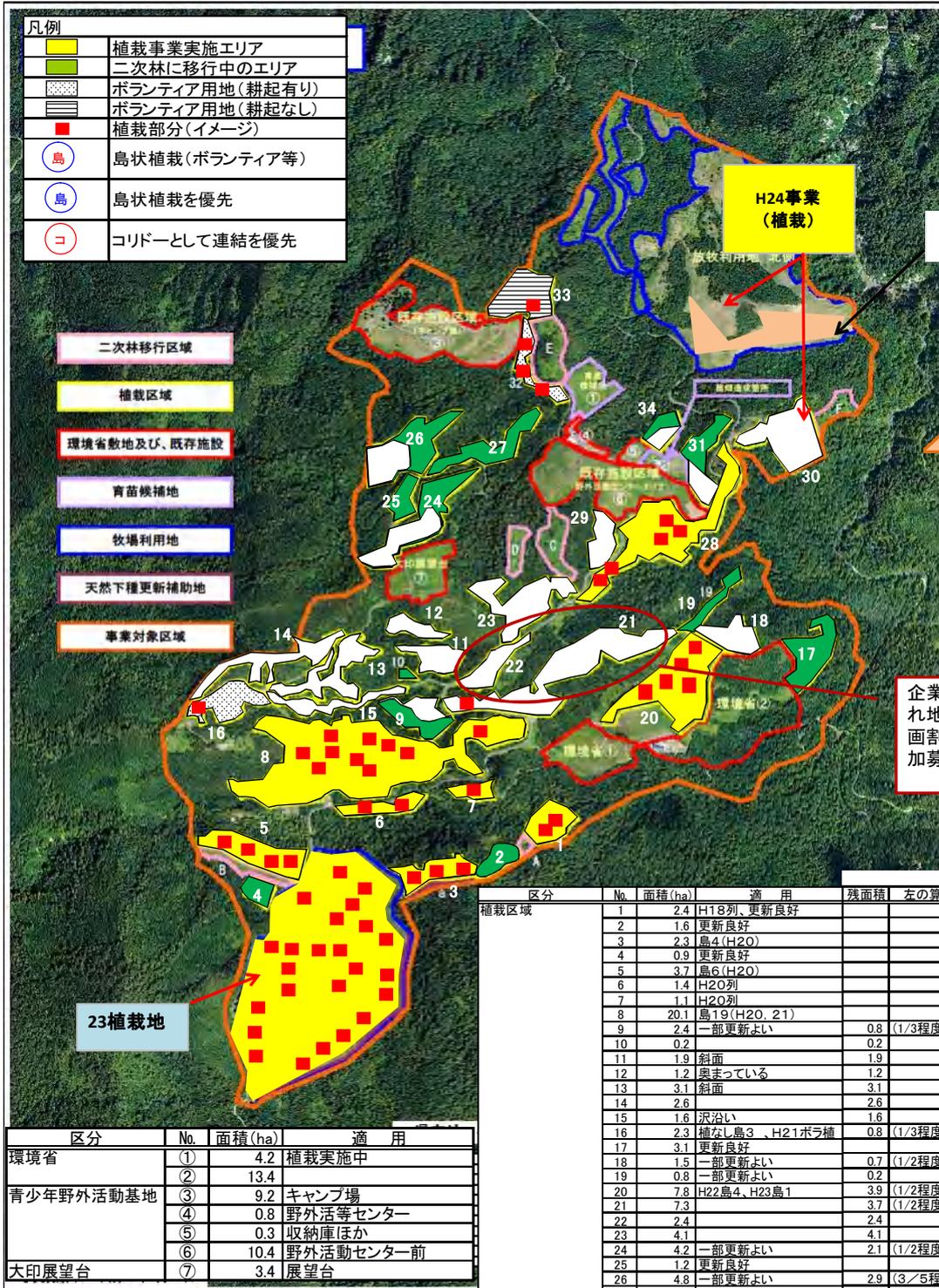
【改正案】

（所管事項）

第4条 協議会は、以下についての事務を行う。

## 第15回森吉山麓高原自然再生協議会資料

- (1) 自然再生全体構想の作成
- (2) 自然再生事業の実施計画案の協議
- (3) 自然再生事業の実施に係る連絡調整、助言等
- (4) その他必要な事項



傾斜地植栽

企業・団体等の受け入れ地区として再整理。区画割等を行った上で、参加募集等を実施。

23植栽地

区分	No.	面積(ha)	適用
環境省	①	4.2	植栽実施中
	②	13.4	
青少年野外活動基地	③	9.2	キャンプ場
	④	0.8	野外活等センター
	⑤	0.3	収納庫ほか
	⑥	10.4	野外活動センター前
大印展望台	⑦	3.4	展望台

区分	No.	面積(ha)	適用	残面積	左の算定根拠	植栽の方向性	対象面積	
植栽区域	1	2.4	H18列、更新良好			モニ		
	2	1.6	更新良好			自然遷移		
	3	2.3	島4(H20)			モニ		
	4	0.9	更新良好			自然遷移		
	5	3.7	島6(H20)			モニ		
	6	1.4	H20列			モニ		
	7	1.1	H20列			モニ		
	8	20.1	島19(H20、21)			モニ		
	9	2.4	一部更新よい		0.8	(1/3程度)	自然遷移	
	10	0.2			0.2		自然遷移	
	11	1.9	斜面		1.9		島状	1.9
	12	1.2	奥まっている		1.2		島状	1.2
	13	3.1	斜面		3.1		コリドー種	3.1
	14	2.6			2.6		コリドー種	2.6
	15	1.6	沢沿い		1.6		コリドー種	1.6
	16	2.3	植なし島3、H21ボラ植		0.8	(1/3程度)	ボラ・企	0.8
	17	3.1	更新良好				自然遷移	
	18	1.5	一部更新よい		0.7	(1/2程度)	自然遷移	
	19	0.8	一部更新よい		0.2		自然遷移	
	20	7.8	H22島4、H23島1		3.9	(1/2程度)	ボラ・企	3.9
	21	7.3			3.7	(1/2程度)	ボラ・企	3.7
	22	2.4			2.4		ボラ・企	2.4
	23	4.1			4.1		島状	4.1
	24	4.2	一部更新よい		2.1	(1/2程度)	自然遷移	
	25	4.2	更新良好				自然遷移	
	26	4.8	一部更新よい		2.9	(3/5程度)	島状	2.9
	27	2.4	全体的に更新よい				自然遷移	
	28	7.9	試験植栽地、他島4				モニ	
	29	1.7			1.7		島状	1.7
	30	5.1			5.1		島状	5.1
	31	2.4	一部更新よい		0.8	(1/3程度)	ボラ・企	0.8
	32	1.3	植なし島3、H20、21ボラ				ボラ・企	
	33	3.4	クーン貸出地		3.3		ボラ・企	
	34	1.3	一部更新よい		0.7	(半分程度)	ボラ・企	0.7
二次林移行区域	A	0.2				自然遷移		
	B	1.2				自然遷移		
	C	2.1				(カウント外)		
	D	1.0				自然遷移		
	E	2.6				自然遷移		
	F	1.0				自然遷移		
育苗候補地	①	2.7	ボラ、更新良好			二次林移行 施設用地:植栽△		
	②	0.7						
牧場利用地	北側	31.2	H24事業予定	31.2		島状		
	南側	31.6	H23島22(予定)			モニ		
天然下種更新補助(候補地)	a	0.9	300×30m、稚樹多数あり			(稚樹多数)	自然遷移	
	b	2.7	900×30m、稚樹多数あり			(稚樹多数)	自然遷移	
合計		189.4			75.0	再掲	36.5	

## 森吉山麓高原における自然環境学習の推進

### 【現状】

森吉山麓高原の自然を再生させる為には長期間の管理が必要となることから、地元住民の理解と協力が不可欠であるが、現在は地元住民が自然再生に係わる事が殆どなく、認知されていない状態。

### 【今後の展開】

森吉山麓高原は風光明媚なポイントが多く、地元小中学生を対象にこれらを活用した自然観察会等を取り入れながら、腐葉土作り、植樹、育樹等の作業体験を定期的で開催し、地元から認知される様な活動を目指す。

また、自然再生活動は森吉山麓高原内での資源循環を基本とし、一般的な植樹活動との差別化を図る。

### 【手法】

- ・ 地元教育委員会と連携し自然観察会等を定期的で開催
- ・ 季節に応じたメニューを提供し年間通した活動を実施（別紙）

# 森吉山麓高原 ブナの森を育てるエコプラン

森吉山麓高原場はブナの原生林に囲まれ、訪れる人に癒しを与えるスポットです。  
この素晴らしい森を保ち育てるため、ブナの苗を植える活動を『自然の循環型』に沿って進めて行くエコ計画です。

・牧場跡地のブナ植林  
面積 \_\_\_\_\_ ㎡  
植樹目標本数 \_\_\_\_\_ 本

植樹活動と森林環境保全を継続できる活動体系を目指す

活動体系

- 秋田県
- ボランティア(企業)
- ボランティア(個人)

主な活動内容

腐葉土(堆肥)作り

苗木作りや植樹に必要な用土は最大限、現地の材料を活用。

苗木作り

冬期中、雪に覆われてしまう現地では、幼苗がやられてしまう。ポットや鉢植えにして、参加者によって育ててもらう。

植樹

それぞれが育てた苗木を持ち寄り、大きく育つ想いを込めた植樹を行う！

植樹活動例

足尾の山に100万本の木を植えよう



栃木県、林野庁、国交省が連携。

- ・春の植樹、夏の草刈、秋の生育観察など通年活動
- ・植樹苗は参加者がそれぞれ持ち寄る事もでき、近隣の小学生を受入れ、環境教育の場にもなっている。

## 土作りプラン

## 植樹プラン

